

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

複合用途建物評価ソフト使用

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: co_CASBEE-NCb_2010(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シマノ本社工場新築工事	階数	地下1F地上5F
建設地	大阪府堺市堺区老松町3丁77番地	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	750 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	7,300 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2012年6月22日
敷地面積	24,796 m ²	作成者	藤野 茂行
建築面積	17,357 m ²	確認日	2012年6月22日
延床面積	49,592 m ²	確認者	山口 志之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
④上記+	84%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 ・工場棟、事務厚生棟共に、中庭を設け、自然光と緑を感じられる豊かな工場空間・執務空間としている。 ・自然エネルギー利用、LED照明などにより省エネを目指している。 ・多層構成となる工場棟での免震構造を採用している。(一部耐震構造) ・ファシリティーサポートシステムを構築させている。		その他 ・ディザスター計画を行なっている。 ・積極的にLED、エバーライト(工場内高天井部分)を採用し、省エネを目指している。
Q1 室内環境 ・風光利用(太陽光追尾装置の設置)を積極的に行い、明るい執務・工場空間としている。 ・加湿器を配置し、冬の湿度確保に配慮している。 ・熱線反射のペアガラスとしている。	Q2 サービス性能 ・免震装置の導入。 ・耐久性の高い機器・材料の使用により、維持管理の負担低減に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・建物を後退させ、塀やフェンスを設けずに緑地で全面を囲っている。 ・中庭を設けることで、執務空間からも工場空間からも緑が望めるようにしている。
LR1 エネルギー ・省エネルギー計画に役立てるよう、建物全域でエネルギーの消費量やCO ₂ の排出量の把握、目標値の設定、削減活動が行われている。 ・自然換気システムを設けている。	LR2 資源・マテリアル ・節水衛生器具の採用を行なっている。 ・雨水利用、エ水利用を行なっている。 ・リサイクル資材を利用している。	LR3 敷地外環境 ・自転車通勤によるCO ₂ 排出量削減の目標を掲げ、実行している。 ・ゴミの排出量・リサイクル量の算出・管理を行なっている。 ・騒音・振動にて条例基準以上の対応を行なっている。 ・屋上緑化を行なっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)シマノ本社工場新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺区老松町3丁77番地	3	S
	主用途/延床面積	工場 / 49,591.78 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	5	
安全快適な暮らし	5	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減		評価項目	スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	4.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.8		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.5		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.0		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	4.7		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	4.0		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	5.0	5
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	4.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	5
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	4.2	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	5.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
ファシリティサポートシステム	快適環境の実現のため、データを取りながら分析し監視制御を行う。空調の外気環境による制御、照明制御、セキュリティ制御、灌水制御など
特に配慮した事項	
・ 快適環境の空間づくり ・ 自然エネルギー利用 ・ 免震構造	